

令和4年度 第1回日出町総合教育会議 会議録

日 時 令和5年3月14日（火） 10:30～12:00

会 場 日出町役場 331会議室

出席者 (日出町) 町長 本田 博文

(日出町教育委員会)

教 育 長 恒 川 英 志

教 育 委 員 菅 英 一

(教育長職務代理者)

教 育 委 員 佐 藤 公 康

教 育 委 員 阿 部 雅 子

教 育 委 員 二 宮 誠一郎

(関係出席者) 副町長、総務課長、財政課長、政策推進課長、住民生活課長、子育て支援課長、教育総務課長（学校給食センター所長）、学校教育課長、社会教育課長（町立図書館長）

(事務局) 総務課、教育総務課

10:30 開会

発言者	内 容
帯刀総務課長	ただいまから令和4年度日出町総合教育会議を開催させていただきます。 まず、本田町長よりご挨拶をお願いいたします。
町長	皆様おはようございます。魚見桜も咲き始めて春の訪れが感じられるようになりました。 日頃から教育分野はもとより町政全般にご理解ご協力いただき心より感謝を申し上げます。 新型コロナウイルス感染症対策は、昨日からマスクの着用につきましては個人の判断に委ねられるように新たな局面を迎えました。 この新型コロナウイルス感染症は、教育現場にも大きな混乱をもたらしたところです。臨時休校を余儀なくされ、さらには保護者の不安に寄り添うご苦勞もあったとお聞きしております。行政としても衛生用品の整備、トイレ手洗い場の整備を行ってきました。 今の中学3年生は入学以来、同級生の顔をじっくり見たことがないということ人で人間関係づくりにも大きな影響を与えたと思います。 そのような中、学校教育の推進に頑張っている教育委員さん、現場の教員の皆さんに敬意を表するところであります。 総合教育会議は、教育に関する重要な案件につきまして、町長部局と教育委員会部局が協議、調整をする場です。よろしくお願いいたします。
総務課長	恒川教育長よりご挨拶をお願いします。
教育長	平素より教育行政にご理解ご協力いただき大変ありがとうございます。 学校現場では、ここ数週間感染者は報告されておりません。4月1日よりマスク着用を個人の判断に委ねることとしています。 町長部局と意見交換する貴重な場ですので、沢山のご意見をいただけたらと思います。
総務課長	各種説明のために職員を同席させております。 本田町長に議長をお願いします。

町長	協議事項 1 日出町教育大綱の進捗状況について、事務局よりお願いします。
事務局	資料 1 の見方について説明
学校教育課長	教育大綱の項目ごとに、事業説明 いじめの認知件数について 令和 3 年度調査では、小学校で 3 4 2 件、前年度比マイナス 2 9 件、中学校 4 4 件、前年度比プラス 9 件となっています。千人当たり小学校では 2 2 3 人、中学校は 5 4 人となっており、日出町全体では 1 6 2 人となっています。国は高等・支援学校を含みますが 4 4. 7 人、大分県は 8 8 人です。数値が多くなっていますが、これは日出町では、本人が苦痛を感じて訴えてきたものにすべて対処していくという対応だからです。学校現場が些細なトラブルを見逃さず組織的に対応を強化している結果だと思います。今後も認知件数を減らすというよりも、しっかりといじめを見逃さずに、困りを抱えた児童生徒に寄り添った指導を行っていきます。 いじめ解消率は小学校において日出町は 7 0 %、県は 7 8 %となっており、中学校において日出町は 9 3 %、県では 7 7 %となっています。
社会教育課長	教育大綱の項目ごとに、事業説明 今年度新規事業 花咲くエールプロジェクト うみうみ教室（朝市見学等） 辻間楽保存継承事業 友田遺跡発掘調査体験プログラム
教育総務課長	教育大綱の項目ごとに、事業説明 I C T 支援委託 教員研修、スキルチェック 日出町奨学金の対象要件の緩和（令和 5 年度から） 豊岡小学校体育館屋根改修工事、日出中学校プールろ過器取替工事
町立図書館長	教育大綱の項目ごとに、事業説明 こどもの読書週間にイベントの開催 エンディングノートの書き方講座
住民生活課長	教育大綱の項目ごとに、事業説明 人権フェスティバルの開催（人権講演会、体験教室、パネル展示） 広報啓発活動の実施
子育て支援課	教育大綱の項目ごとに、事業説明 5 歳児のこころと体の相談等ネットワーク会議の開催 要保護児童対策協議会の開催
町長	ご質問等をお願いします。
菅教育委員	方針 1 - 1 確かな学力の向上のところは、具体的な数値がわかるでしょうか？
学校教育課長	学力調査の達成状況について説明
菅教育委員	体力調査についてもわかりますか？ 数値で示してもらえると大変わかりやすい。
学校教育課長	手元に資料がないので、また説明します。
佐藤教育委員	幼稚園の子供は減っているが、保育園の園児数は増えている。幼稚園、子ども園の今後の方向性はどう進んでいきますか？
恒川教育長	幼稚園の適正委員会を開き、適正な幼児教育を受けさせるには最低 1 0 名の人数が望ましいという結論が出ています。ただしこれは 1 0 名を切ったら即廃園、統合の方向に持っていくというものではありません。今年度の大神幼稚園

	は園児 5 名にですが、適正な幼児保育ができていないわけではありません。人数で統廃合を議論するには、今の段階では拙速な判断であると思っています。来年度の大神幼稚園は 11 名になる予定です。年によって変動しますので判断が難しい。来年度幼稚園教諭を 2 名の採用をしますので、濃い保育内容が提供できると思っています。 公立幼稚園の存在意義として、5 歳児に、子ども園に残るか、公立幼稚園に行くという選択肢が 2 つあることは望ましい。 とは言え、状況を見ながら、判断をしないといけない時期が近々やってくると思っていますので、今からある程度の準備をしながら、判断が遅くならないようにしておきたい。
菅教育委員	教育長が言われたように公立幼稚園のニーズはある。子ども家庭庁ができ、どんどん変わる。子育て支援課と教育委員会との連携が課題となってくる。連携していく方向性はどうなっていますか？
恒川教育長	幼保小連携推進協議会の中で、保育所の代表者の方も来ていただいて情報共有しています。幼稚園に提供している職員研修を子ども園にもできないかという意見はある。そういった面でも子育て支援課と連携していきたい。
子育て支援課長	幼保小連携推進協議会の中に、幼稚園や小学校の研修に保育園の職員も関わらせていただいています。ぜひ、保育園にも幼稚園、学校の先生に来て見ていただき、意見をもらいたい。そういった場を作っていただいて連携ができればと思っています。
本田町長	平成 31 年度の幼保一元化当初は、町立幼稚園に行く人がいなくなるのではという心配はありましたが、その後を見ますと日出町では幼稚園の人気は根強い。日出町では待機児童の問題がある。そういった状況の中で、ある意味受け皿になってもらっているし、学校教育につなぐ大きな役割があるという話も聴く。軽々に、数だけを見てこれから先をどうかと考えるのは、少し早いかと思います。準備はしておかないといけないが、今の形の中でどう役割を果たしていただけるかを考え続けたほうが良いと思っています。
佐藤教育委員	子ども園との連携が、うまい形が取れば、もっといい方向に進んでいく。小 1 プロblem の壁を乗り越えるのは幼稚園のほうが近いだけにいい部分がある。
佐藤教育委員	防災のところにある通学路の点検等で危険個所が見つかった場合の対応はどうなっているのか。
学校教育課長	毎年 6 月に保護者や地域の方の意見も含め、学校教育課に各学校から一覧を提出してもらい。それをもとに現地確認をします。その後、夏に危機管理室、都市建設課、杵築日出警察署、教育委員会で現地を回って状況を把握します。その結果をもとに今年度どこを改修すべきかを検討します。8 月末から 9 月にかけて国、県の事務所も加え、話し合いを行います。時間がかかるものもあるし、できないものもあります。 例えば、横断歩道や信号については、道路の形状や他の信号との間隔で実施できないものもあります。状況によって叶わないものもあります。 都市建設課や警察が早期に対応していただいている。今後も連携していきたい。
本田町長	信号や横断歩道の新設については制約が多くあります。通学路は最優先に考えております。
学校教育課	先ほどの菅教育委員の質問にあった体力調査について準備ができましたので

	回答させていただきます。 標準と言われるC以上の割合です。小学校男子は79%以上の指標に対しまして80.3%で達成しています。小学校女子は86%としていますが79.6%で未達成です。中学校男子は74%以上としていますが、73.5%と達成していません。中学校女子は87%以上としていますが、78.7%となっております。 また朝食を毎日食べる割合については85%以上を目標としています。小学校男子は85.5%、小学校女子は88%、中学校男子は85.7%、中学校女子は85.4%とすべてで達成しております。 最後に、運動への愛好度、運動が好きという答えについては、小学校男子は95%以上を目標としていますが91.7%。小学校女子は85%に対しまして85.7%で達成しております。中学校男子は90%以上に対しまして92%と達成しています。中学校女子は85%以上としていますが、84.6%となっております。
町長	それでは2番目の部活動の地域移行についてをお願いします。
事務局	資料2の4ページに町内中学校の部活動の状況について説明
社会教育課長	地域移行の検討状況について説明 ①これまでの経緯 ②学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドラインについて ③日出町の現状と予想される課題について ④これからの取り組みについて 令和5年3月16日 第1回日出町中学校部活動地域移行検討委員会
町長	ご意見ご質問があればお願いします。
佐藤教育委員	ガイドラインにある令和7年度までを改革推進期間にするとあるが、どういう認識でいるのか？3年後には地域移行しておかなければいけないのか。
社会教育課長	当初の国の方針は、7年度末までにすべて地域移行しておかないといけないという趣旨であったが、昨年末に少し表現が変わりました。7年度末まで重点的に進めていき、できるところから随時進めていくということです。部活動の種目によっては完全移行できないものもあるかもしれません。
恒川教育長	大分市、別府市の都市部は、地域のスポーツクラブ、民間会社に委託するというので見通しが立っています。しかし日出町や周辺部においては指導者の確保が難しい。平日夕方4時から7時、それに土日で、生活ができる報酬を提供できるかという現実的ではない。 地域移行は、しないといけない課題ですので、解決していかないといけない。
二宮教育委員	とくに競技人口が少ない部活動をどうしていくかが課題であると思います。日出中、大神中両方に講師を派遣するというのは難しいでしょうから、合同で行うかも。そうなるとその練習場所にどうやって移動するのか。個人で移動するのか、町として直接支援するのか、コミュニティ交通で支援するのかといったように、いろんな視点から派生した問題が発生してくる。 今日の総合教育会議で部活動を町全体として支えていくという方向性の確認できれば嬉しいと思っています。 もう一点、土日の部活動の地域移行から平日も移行するとありますが、それは最終的に学校の部活動といえるのか。これは学校と切り離れた生涯学習の生涯スポーツ振興という位置づけになるのか。意味合いが理解できていない。

	土日を民間に委託しても、平日の顧問の先生との意思疎通、連携をどうやっていくのか、単に指導者を探しただけでは解決しない問題だと思います。地域移行の最終的なイメージを把握し、町全体いろいろな視点から支えていただく必要があると思います。
社会教育課長	地域移行検討委員会につきましては、委員以外の者も参加できるようにしていますので、担当課長を呼んで意見をいただくことで、いろいろな立場で議論できると思います。 最終的な地域クラブ活動の移行についてですが、国がめざしているものは部活動自体を地域のクラブ活動に変え、学校部活動という考え方ではなくなると思います。 また休日の指導者と平日の先生との指導方針等の共有については、課題として認識していますので、これから進めていきます。
政策企画課長	移動に関しては、まだ検討してはいません。困難支障があるというご指摘を承知しましたので、これから検討をさせていただきます。
二宮教育委員	これから部活動がどうなるか具体的にわかってきたら、必要があれば検討をお願いします。
本田町長	地域移行については、教員の働き方改革とともに、少子高齢化社会の中で子どもが少なくなってくると単独学校での部活動での維持が難しくなってくるといことも踏まえた改革のようです。大神中学校の女子バレーは5人しかおらず公式大会に出られない。大神は昔少女バレーが盛んだった。ほかの自治体でも多いのではないかと思います。これからの動きとしては必然だと思います。土日の指導者は報酬をもらってやるからには、それだけの成果が求められる。それを平日の先生が同じような指導ができるかと言えば、それは違ってくると思います。大きな課題だと思います。 学校教育の課外活動から、社会体育、社会教育へ移そうというものだと思いますが、ガイドラインの中で学校との連携という言葉が入っているので、すべてを切り離すことができないと国は考えているのではないかな。その難しさがある。 日出町としても避けて通れない課題だと考えているので、町長部局も一緒になって考えていきたいと思います。
阿部教育委員	大分市や別府市の民間の指導者というのはどういった方ですが
恒川教育長	民間のジム、テニススクール、スイミングスクールに委託するようです。また人材派遣会社もあるようです。
本田町長	次の学校現場のDXについて説明をお願いします。
事務局	日出町町長部局のDXについて説明 DX推進計画 事務の効率化RPA
教育総務課長	大分県が導入している学校総合管理システムの説明 日出町においても統合的校務支援システムを令和4年度から本格導入や保護者宛の一斉メールシステムの導入、学校用グループウェアでの勤怠管理や情報共有、仮想化システムの強化を実施し活用している
二宮教育委員	新しいシステムが導入されることで、こういった物に慣れない先生の負担になっていないか。 また生徒情報の共有ができるとあるが、どこまで共有がされているのか。
事務局	システム導入に対しての現場の先生の負担についてですが、パソコンごとの設定があつたりして作業負担がかかっています。得手不得手がありますので、負

	担をかけていることは認識しています。 また、情報共有の管理者権限ですが段階的に設けています。児童生徒の状況については、学校単位で校長、教頭、学年担任、教諭といった権限を分けて、必要外の情報が見られないように制限しています。
二宮教育委員	システムに対する負担感を感じている先生たちへの支援体制はどうなっていますか。
事務局	各学校のＩＣＴ担当教員やヘルプデスク、教育総務課に相談があります。
学校教育課長	現場ではＯＪＴ、教員同士の学び合いが必要だと思っています。
本田町長	平成２９年度の早いうちからＩＣＴ支援員を配置して、各学校を回ってもらっています。
本田町長	私のほうから、学校現場で一番手を取るところはどこでしょうか？授業は決まっているでしょうから、どこを自動化できたら先生の負担が軽くなるのでしょうか。 保護者対応や子どものトラブル対応で時間がかかるのではないかという気がしています。そういった部分をＤＸで解決できる場所はないかと考えています。 昨年のＤＸの研修の中で世田谷区の事例に興味を持ちました。ＤＶの電話相談を録音し、その内容を瞬時にテキスト化し、報告書も作成してくれる。またその中で、特徴的な言葉があるとＡＩが判断したら、ＤＶの可能性のあることを知らせてくれる。保護者対応した後には報告書の作成が必要になると思うので学校現場でも有効ではないかと思いました。 学校現場で内容の割に時間がかかっているものは何なのか一緒に考えてもらいたい。
恒川教育長	簡略できるところはデジタル化していきたい。ただ学校現場は人と接するところですので、対面して目をみて話をする基本部分も大切にしたい。何でも合理化していくわけにはいかないのも両輪でやっていきたい。 教員が何をもって忙しいのかを把握していきたい。どんなデジタル技術がいいかということも勉強していきたい。
本田町長	こんなことがＤＸでできないかということを出していただきたい。
佐藤教育委員	高校ではアプリで出欠連絡や成績表が見られる。アプリで確認できるし、連絡事項も届くので保護者としては便利になっています。先生との関係が希薄になるかもしれませんが、その部分は違った形で付き合いければいい。
本田町長	コロナでそういったところは進んだと思います。ＤＸについては短期間でお金をかけてやらないと、ダラダラしてはいつの間にか忘れ去られてしまう。学校現場も提案をしていただきたい。
本田町長	では協議事項４ その他について、委員さんから何かありますか？ ないようですので、これで協議を終わります。ご協力ありがとうございました。
総務課長	本日いただいた意見につきましては、可能なものについては、それぞれの施策に反映させていただきたいと思います。 それでは以上をもちまして、令和４年度日出町総合教育会議を閉会します。ありがとうございました。

12：00 閉会